

霊園・霊堂維持管理事業（堺公園墓地のあり方についての検討）

■ 本計画の必要性および概要

- 核家族化や少子化などにより、今後お墓の使用権を受け継ぐ者（継承者）が減少することが想定される。
- 近年の社会状況に伴う多様な形態の墓地ニーズに対応するために、堺公園墓地内に、継承者がいない場合でも共同で納骨ができる合葬式墓地の整備に向け検討を行う。
- 安定的な墓地経営を行うためにも、既存の平面墓地、納骨壇を含め公園墓地のあり方について民間活力の導入も含めて検討を行う。

■ 公園墓地の現状と課題

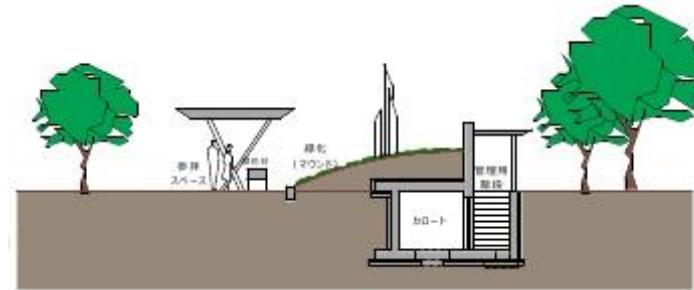
平面墓地の空き区画が増加傾向にある。返還者へのアンケートの結果、多くの方が返還理由に、「墓地を祭祀していく（守っていく）者がいないため」、「将来子供たちの負担をなくすため」を挙げている。

■ 計画策定のポイント

- 現状 平面墓地における空き区画数が増加
- 分析 墓地ニーズの多様化が進んでいる
- 対応 公園墓地の既存施設のあり方と多様な形態の墓地ニーズへの対応を検討

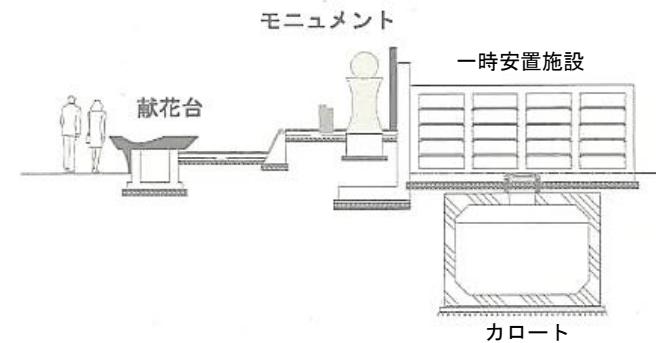
■ 合葬式墓地の事例

- 事例1（直接埋葬式）
※ 一時安置施設なし



（出典）泉佐野市檀波羅公園墓地

- 事例2（一時安置施設あり）



（出典）神戸市立鶴越墓園

■ スケジュール

- 令和2、3年度 堺公園墓地のあり方についての検討